

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、平成22年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。
2. 参加種目は一人2種目までとする。リレーの補欠も1種目とする。
3. スパイクシューズは全種目使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)
4. コールは行わない。(朝の受付での棄権、リレーオーダーの報告も不要。リレーの走順変更も前日までに連絡) 競技開始15分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり、係の指示に従うこと。(フィールド種目も他の種目と同じ集合場所とする)
5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
スターティングブロックの使用は予選から5年生以上の希望者使用とする。速やかに設置できるよう指導しておくこと。またフライングについては、小学校の大会では、本年度の全国大会の規定に準じ、従来通り同じ選手が2回フライングした場合に失格とする。
6. リレーにおけるテーク・オーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)の使用を認める。
7. 100m種目及び5・6年リレーは、タイムレース予選を行い、上位8位まで決勝に出場する。
他のトラック種目は、予選を行わず、タイムレース決勝とする。
80mハードル走は下表の規定にて行う。

第1ハードルまで	高 さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
1 3 m	70 cm	7 m	9台	1 1 m

8. 走り幅跳びは、全員3回の試技を行い、全体の上位8名が残り3回の試技を行い、6回の試技で順位を決定する。
また走り高跳びの試技は、男女とも100cmから開始する。順位決定は連盟競技規則に準じるが、全て条件が同じ場合の順位決定試技は、1位タイと6位タイの選手が出た場合のみ行う。
なお県予選は女子105cm、男子110cmから試技を開始する。
なお跳び方ははさみ跳びとし、マットへの背、腰からの着地は無効試技とする。
またソフトボール投げは、全国大会規則に従い、3回の試技のみで順位決定を行う。
(走り幅跳びのように上位8名での決勝試技は実施しない。)
1号球を使用し、やり投げピットで助走距離は15mまで。
9. 各種目とも上位6位までを表彰する。表彰式は随時放送の指示により行う。参加できない場合は、本部に申し出て、賞状を受け取って帰ること。
参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと) 記録は速報板に掲示するのでよく確認のこと。なお、後日倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。
また個人情報保護の観点から、名前の掲載を希望されない方は事前に大会本部に申し出ること。
各種目(正式種目のみ)の上位6位までの選手は、7月10日(土)の岡山県代表選手選考会に参加できる。
10. 各チームの指導者は、**見学のマナーも含めて**、選手の指導・管理を徹底すること。
11. 本大会出場選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。なおけがをして病院に行く可能性のある場合は、必ず大会終了までに本部に申し出ておくこと。
12. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
13. 昼食はスタンドでとって構わないが、**ごみは各自持ち帰ること。**
14. チームの選手の競技が全て終了したら、ナンバーカードをチームでまとめて、受付に返納すること。